

— 立教大学 —

2月8日 法・異文化コミュニケーション・経済学部 英語

解答

I

1 ニ 2 ロ 3 イ 4 ロ 5 ハ
6 ロ 7 イ 8 ハ 9 ニ 10 ハ

II

1 イ 2 ハ 3 ニ 4 ロ 5 イ
6 ハ 7 ロ 8 ニ 9 ハ 10 ロ

III

1 イ 2 ニ 3 ロ 4 イ 5 ロ
6 ハ

IV

A

1 ロ 2 ニ 3 イ 4 ハ

B

5 ニ 6 ロ 7 イ 8 ハ

V

1 what
2 before
3 You
4 had
5 Now
6 least

その他の大学・学部の解答解説はコチラ！

[増田塾 2019 解答速報ホームページ](#)



早慶上智・GMARCH・関関同立などをはじめとした難関大学の解答解説を随時公開していきます！

解説

I.

1. 第1段落最終文参照。2050年までには、都市部に膨大な数の人が集中するということが書かれている。
3. 第3段落第3文参照。
5. 第7段落第1文の **but** 以下に書かれている「一年中建物の中で食べ物を育てることで収穫を増やすことができる」という事実を分からせるために、カンザス州の小麦畑に例えたのである。
6. 第8段落第2文参照。「干ばつ、洪水、嵐の影響を受けない」と書かれている。
8. 第11段落第2文参照。
9. 全体を通して「人口増加→従来の農業モデルでは食料が足りなくなる→垂直農法」という流れで話が書かれている。

II

1. 第2段落最終文参照。「石鹼は本来固形でなめらかである」と書かれている。この点が違いである。
3. 第4段落第1文参照。「輸入品のカスティール石鹼と闘うため」と書かれている。
4. 第5段落第4文参照。「バレたくなかった」と書かれている。
5. 第6段落第1文参照。
7. 第8段落第2文参照。**Edison** が白熱電球を発明したせいで、**Procter** はロウソクを扱う商売がダメになる考え、石鹼を売ることに集中しようと決めたのである。
10. 全体を通して、**Procter** と彼が開発した石鹼の販売手法の経緯が書かれている。

III

1. Rare → Rarely
2. founded in → found in
find - found - found 他動詞「～を見つける」
found - founded - founded 他動詞「～を設立する」
3. as opposed with → as opposed to
be opposed to～「～と対立する」
4. will rather → would rather
5. capable to balance → capable of balancing
be capable of Ving = be able toV 「Vすることができる」
6. follows into → flows into
follow は他動詞扱い。flow into～「～に流れ込む」

IV

A

Dad 「もしもし」

Alice 「あ、パパ？ あたし」

Dad 「アリスか。①どうした？ うちに向かっているの？」

Alice 「うん。あとちょっとで着く。いま駅」

Dad 「OK。夕ご飯もうほとんどできてる。②急いでおいで」

Alice 「うーんと、実はね、傘なくしちゃったの。雨が凄いのよ。車で迎えに来てくれる？」

Dad 「③おいおい。今月に入って3本目じゃないか」

Alice 「ほんとにごめんなさい。電車で忘れたみたいなの。疲れてたし、電車混んでたし…。音楽聴いてたから」

Dad 「④そんなの言い訳にならん」

Alice 「わかっている。わかっているよ。あたしがいけないの。今度は気をつけるから」

Dad 「わかった。今から行くよ」

(1) How's everything?

「物事はどうなっている？」 → 「どうした？」

(2) so you'd better hurry

「それなら、急いだ方がよい」 → 「急いでおいで」

(3) Are you kidding?

「冗談でしょ？」 → 「おいおい」

(4) Those aren't the best excuses.

「それは最高の言い訳にはならない」 → 「そんなの言い訳にならん」

B

Gareth 「無事を祈っててよ。今週末、富士山に登るんだ」

Seo-hyeon 「本当？ 真冬だよ。⑤何が待ち構えているかわかっているの？」

Gareth 「もちろん。小さい頃から山に登っているからね」

Seo-hyeon 「必要な装備持っているのよね？ 登山靴、アイスピック、酸素ボンベ…」

Gareth 「いやいや、初心者かよ」

Seo-hyeon 「⑥それはどうかな。この時期、天辺は氷だって聞いたわよ」

Gareth 「登山の経験はあるの？」

Seo-hyeon 「うん、あるわよ。実はこの夏富士山に登ってきたわ。⑦氷と雪がなくても危なかったわ」

Gareth 「ま、確かにある程度登山道具を持っていくのも悪くはないかもな」

Seo-hyeon 「それと寒い気候に慣れるために、少し歩く練習しておくといいわよ」

Gareth 「アドバイスありがとう」

Seo-hyeon 「どういたしまして。⑧安全が一番」

- (5) Do you know what you're getting into
「君が何に入って行くことになるか知ってるのか？」 → 「何が待ち構えているかわかってるの？」
- (6) I'm not so sure about that
「私はそれについては確信がない」 → 「それはどうかな」
- (7) It was dangerous even without the ice and snow
「氷と雪なしでさえも危険だった」 → 「氷と雪がなくても危なかったわ」
- (8) It's better to be safe than sorry
「後悔するより安全でいる方が良い」 → 「安全が一番」

V この問題形式は毎年受験生の頭を悩ませているようであるが、基本的には選択肢形式の空所補充問題と解法は変わらない。まず空所に入る語の品詞を考えること。そして、文脈にふさわしい内容を考えること。以上の順序で考えれば良い。

1. 空所の直前には、他動詞の know があること、そして空所の後に続く節が不完全文であることに注目すれば良い。
2. the night before 「前の晩」
3. 空所の直後に know があることから You 以外の可能性を考えるのは困難である。
4. 文脈から But nobody had heard...となるのが分かる。そしてここでは、この heard 以下が省略されたと考えれば良い。
5. now that SV 「今やSVするので」
6. at least 「少なくとも」

その他の大学・学部の解答解説はコチラ！

増田塾 2019 解答速報ホームページ 

早慶上智・GMARCH・関関同立などをはじめとした難関大学の解答解説を随時公開していきます！